

岡垣サンリーアイ中長期事業計画

# みんながふれあい 笑顔あふれる岡垣サンリーアイ



(公財)岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団

公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団

## はじめに

岡垣サンリーアイは、平成5年7月にハミングホールや図書館などの文化施設が開館して以来24年が経過した。その間に第2期施設整備によるウェブアリーナが平成12年6月に開館し、岡垣町の指定管理者制度導入による管理運営の受託が平成17年度から始まり、平成23年4月には公益法人制度改革による公益財団法人へと移行した。また、平成28年4月末には利用者の累計が570万人を超えた。

これまで様々な事業に取り組んでいるが、各事業の際に実施している利用者アンケートで利用者の意識や意向を把握したところ、現状の取り組みにある程度好意的な評価を得ている一方で、内容の工夫や改善、新しいものを求める声も寄せられている。

岡垣町が平成27年6月から7月にかけて実施した岡垣町第5次総合計画後期基本計画策定のための住民アンケート結果によると、まちの住みやすさの理由の上位5番目に「サンリーアイ等の文化施設がよく整備されている。」があがっている。また、まちづくりに関する施策50項目について、まちづくりの満足度が高い項目8つの中に「岡垣サンリーアイや図書館などでの文化事業や文化講座などの生涯学習の推進」が入っている。これらのことは、岡垣町が当財団と連携して進めてきたことが、一定の効果を上げ、評価を受けてきたことを示している。

現在国や全国の地方自治体の財政状況が厳しさを増しており、当公益財団への委託者である岡垣町もその例外ではなく、今後は町からの受託収入の減額も視野に入れた管理運営を想定しなければならない。なお、町で予算化しているサンリーアイの施設整備費などについては、すでに平成28年度より一部減額されている。

以上のような当公益財団を取り巻く環境の変化に対応し、文化・スポーツの拠点施設として地域の文化とスポーツの振興、発展に寄与、貢献するためには、岡垣町の取り組みと連携しつつ、限りある財源を有効に活用しながら、時代の流れや利用者の意向に沿った事業の展開を図る必要がある。このため当財団の設置目的に沿った事業の基本的な方針を定めるとともに、事業の体系、主要事業、実施体制などを示した中長期事業計画を策定するものである。

## 目次

第1. 文化、スポーツ行政の動向	1~2
1. 国	1
2. 福岡県	1
3. 岡垣町	2
第2. 他の複合文化施設の状況	3~5
1. 調査の対象施設と事業	3
2. 調査方法	3
3. 調査の結果及び分析	3~5
4. まとめ	5
第3. 当公益財団事業の現状と課題	6~11
1. 自主事業	6~8
2. 講座事業	8~9
3. 図書事業	9~10
4. 施設管理運営	10~11
第4. 基本理念及び将来像	12
第5. 事業体系の再構築及び今後の事業展開に向けた基本目標と基本方針	13~14
1. 基本目標	13
2. 基本方針	13~14
第6. 計画期間	14
第7. 事業体系と主要事業	14
1. 事業体系	14
2. 主要事業	14~15
第8. 前期事業計画における事業の概要	16~24
1. 自主事業	16~20
2. 講座事業	20~21
3. 図書事業	22~23
4. 施設管理運営	23~24
第9. 事業の実施体制	25
第10. 計画の進行管理と見直し	25
1. PDCA(Plan Do Check Action)サイクルによる事業の企画と実施	25
2. アンケートやモニターの実施	25
3. 事業検証会議の開催	25
4. 計画の見直し	25
事業体系図	26

## 第1. 文化、スポーツ行政の動向

当公益財団の定款第3条には、学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進によって、地域住民の心身の発達及び福祉の向上と健全なまちづくりの推進に寄与することが活動の目的として定められている。この目的を達成するために取り組む、サンリーアイの事業及び関係予算の編成に影響を与える、国や県、岡垣町の文化及びスポーツを巡る動きと今後の展望などをまとめると次のようになる。

### 1. 国

#### (1) 文化施策

平成13年11月に成立した文化芸術振興基本法に基づき、平成27年5月に閣議決定された第4次の文化芸術の振興に関する基本的な方針では、東京オリンピックが開催される西暦2020年までを計画期間として定め、文化芸術立国の実現を目指して、文化芸術を振興するための5つの重点戦略を掲げている。また、基本方針と同日に閣議決定された文化芸術立国中期プランでは、西暦2020年に日本が世界の芸術文化の交流のハブとなることを目標に掲げ、全国の自治体、芸術家等とともに文化イベントの取り組みを推進するとしている。

#### (2) スポーツ施策

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法に基づき、平成24年3月に10年程度を見通した基本方針とおおむね5年間の施策体系をまとめたスポーツ基本計画が策定された。この計画で、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の姿を目指し、年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができるスポーツ環境を整備するとしている。

### 2. 福岡県

#### (1) 文化施策

文化庁が平成18年3月に提案した九州・沖縄からの文化力構想に基づき、九州・沖縄・山口各県が「九州・沖縄からの文化力プロジェクト」を定め、文化活動の充実とその発信を通じて、地域の一体化・活性化に取り組み、日本の社会を元気にすることを目指している。福岡県においては、県内外から多くの人々が集うことを目的として、九州・沖縄・山口各県が県域を越えて文化イベント情報を発信する取り組みを進めている。

#### (2) スポーツ施策

国のスポーツ基本計画に基づき、平成26年3月に福岡県スポーツ推進計画を策定した。この計画には、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進や子どものスポーツ機会の充実、県民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備充実その他の施策の柱が示されており、スポーツの活性化で実現する社会の姿として、生きがいとなるスポーツの実施による健康寿命の延伸、地域の特色あるスポーツイベントによる多くの人々の交流の推進などを描いている。

### 3. 岡垣町

平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を期間とする第 5 次総合計画及び平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間の施策の方針を定めた後期基本計画には、岡垣町が進める文化・スポーツの取り組みが示されている。

また、岡垣町の総合計画に沿って策定された岡垣町教育基本構想及び毎年度策定される教育施策には、教育委員会が取り組む文化芸術・スポーツに関する施策の方向や施策概要があげられている。

これらのことを整理して掲げると次のようになる。

#### (1) 文化施策

##### 【後期基本計画】

住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくるため、

- ①住民の生涯学習の拠点として、サンリーアイの図書館や文化事業、文化講座の充実を図る。
- ②サンリーアイ施設の維持・管理に努め、町の学習環境を整備する。
- ③住民の文化・芸術への関心を高め、地域の住民や団体の自発的な文化活動を積極的に支援する。

##### 【教育施策】

生涯学習の 8 つの重点施策(生涯学習の充実と活力ある地域づくり)のうちサンリーアイと連携した文化の振興に関わるものとして、

- ①図書ボランティアの育成を図る。
- ②図書館の AV 資料の充実を図る。
- ③文化事業の共同開催により良質な事業展開を図る。
- ④文化事業の企画、実施、鑑賞を住民と協働する実行委員会形式で実行する。
- ⑤近隣文化施設と連携し、文化事業イベントの共同開催を行う。
- ⑥カルチャーフェスタ、スポット講座、館外講座の充実を図る。

#### (2) スポーツ施策

##### 【後期基本計画】

住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げることを目的として、

- ①多くの住民がスポーツを通じて健康増進と地域の交流の輪を広げるため、地域でのスポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興を図る。
- ②サンリーアイ・ウエーブアリーナの管理運営や維持に努め、町のスポーツ環境を整備する。

##### 【教育施策】

- ①サンリーアイと連携してスポーツ事業を共同開催し、良質な事業展開を図る。
- ②社会体育事業の実施や施設整備等によるスポーツと健康づくりを推進する。

## 第2. 他の複合文化施設の状況

当公益財団では、施設の開館当初より、事業の実施にあたり実行委員会を設置して取り組む住民参加の手法を数多く取り入れている。この住民参加型事業は、住民や利用者が事業の企画・運営に参加することにより、その意見を反映させながら財団と住民・利用者とは連携した事業展開を図ることができる。今後もこの手法を活かした事業を積極的に展開する際の参考とするため、福岡県内の複合文化施設における住民参加型事業の状況について調査を行った。また、各施設で取り組みが行われているアウトリーチ事業（注1）についても合わせて調査を行った。

### 1. 調査の対象施設と事業

福岡県下に所在する複合文化施設8施設（地方自治体による直営1施設、指定管理者による管理運営7施設）における平成27年度現在の自主事業で、特に住民が事業の企画や運営に参加している住民参加型事業及びアウトリーチ事業を調査の対象とした。

### 2. 調査方法

全国公立文化施設協会が発行する資料のうち対象8施設に関する情報、対象施設が発行する年報や公式ホームページに掲載された情報、対象施設職員に対する聞き取りなどをもとに、対象事業に関する事項の把握、確認を行った。

### 3. 調査の結果及び分析

調査対象の全8施設において合計10本の住民参加型の事業が実施されており、アウトリーチ事業は5施設で行われている。

住民参加型事業は全て音楽に関連するもので、二つの形態に分類できる。

一つは、地域の音楽家、音楽愛好家に演奏活動の機会と場を提供するとともに、施設来館者が自由に鑑賞できる「提供・鑑賞型」で、これが6つの施設において8本の事業が実施されている。もう一つの形態は、地域の音楽愛好家や小学生・中学生がプロの音楽家から指導を受ける「体験型」で、2つの施設でそれぞれ1本の事業が実施されている。

二つの形態の事業概要は次のとおりである。

#### ●住民参加型事業

##### (1)提供・鑑賞型

この形態の事業は、内容や対象者が異なるピアノリレー事業とロビーコンサート事業の二つに細分される。

##### ①ピアノリレー事業

普段演奏する機会がないホールのグランドピアノに触れる機会とホールでの演奏の場を提供することを目的とした事業で、5施設において実施している。

各施設での演奏参加者数は70～120組で、入場者数は5施設平均で200人/日、多い施設では約400人/日となっている。入場者が少ない施設では、最後にプロの演奏家によるゲスト演奏を行うなどの工夫を凝らしているが、その他の施設では参加者を増やす

ことを重視している。

全ての施設で参加者への負担を求めており、その額は500円から2,500円と幅がある。

参加申し込みは原則先着順となっているが、施設所在自治体の住民や施設の友の会会員を優先的に受付している施設もある。全ての施設で抽選による参加者の決定を行っていないが、抽選を実施した場合一緒に申し込んだ兄弟や友達に参加できないこともあるため、参加者が集まりにくくなる懸念があることを理由としてあげている。

なお、本事業を実施している5施設とは別に、本事業を平成23年度で中止した施設がある。その理由は、参加者を先着順で決定していたが、毎年参加者の大半が同じピアノ教室の生徒で占められるようになったためである。以上のような問題もあるため、一部の施設では、本事業の継続実施について検討を行っている。

## ②ロビーコンサート事業

地域の音楽家へ施設内のオープンスペースで演奏する機会を提供することで、地域の音楽家の育成と来館者に気軽に様々な音楽を楽しんでもらうことを目的とした事業として3施設で実施している。

実施回数は年間に1回から20回までと施設によって大きく異なっている。また、時間帯は夕方ほとんどであるが、昼間に実施している施設もある。出演者は全てアマチュアであるが、使用する楽器や音源、出演の動機、出演歴などによる選定基準に基づいて出演者を決定しており、質の高いコンサートとなっている。しかし、一部の施設においては、同じ演奏者が何度も出演するようになってきたため、初めての演奏者を優先するなどの措置を講じている。

3施設での1回当たりの平均入場者数は85名となっている。なお、施設によっては、入場者を増やすための工夫として、施設内で上映される映画の合間に実施するなど、他の事業との組み合わせや付加価値をつける取り組みを行っている。

## (2)体験型

プロの音楽家が指導を行うもので、2つの施設において、それぞれ次のような事業を実施している。

一つは、地域の音楽家の演奏技術の向上を図るために、プロ音楽家のコンサートに参加する学生などに対して、本番の演奏前に楽器の操作やメンテナンスについての指導を行うものである。もう一つは、音楽への関心を高めることを目的とした事業で、地域の小学校や中学校へプロの音楽家を派遣し、演奏指導を行うものである。どちらの事業も好評であり、継続した取り組みとなっている。

## ●アウトリーチ事業

日頃芸術に触れる機会の少ない人々に対して、気軽に芸術に触れる機会を提供するとともに、地域で活動しているアーティストの方々に活動の場を提供することを目的とした事業で5施設において実施している。

ジャンルは、全て音楽に関連するもので、プロの演奏家を地域に派遣する地域派遣型事業（出張コンサート等）である。事業規模としては、一番多く実施している施設は、年間

86回（入場者数 8,291人）で、予算規模は約460万となっている。他は2～27回である。演奏先は、保育園、幼稚園、小・中・高等学校、公民館、老人ホーム、商業施設などである。また、このアウトリーチ事業は、企画から実施に至るまでの業務量が多いため、実施回数の多い施設は、この事業に専属の担当者を配置しており、今後の課題として回数や演奏先の見直しを検討している。一方で、年々演奏依頼が増えている施設においては、既存の業務量を考慮したうえで回数を増やすか検討している。

#### 4. まとめ

今回調査を行った8施設全体に共通することは、自主事業としては鑑賞型の事業が中心で、住民参加型の事業の取り組みは少ないのが現状である。各施設は、今後も住民参加型事業を継続していく意向はある。しかし、サンリーアイカレッジの様な人材育成事業や実行委員会形式による事業展開など地域住民の参加・参画による協働の文化づくりを推進している施設は現段階ではない。

また、アウトリーチ事業においては、5施設の内、3施設が今後も現状の規模での実施を考えているが、他の2施設においては、1施設が事業の拡大を、もう1施設が縮小を検討している。なお、全施設が新たな演奏依頼に対して、どのように応えるのかを今後の課題としてあげている。

##### ※注1 アウトリーチ事業とは

公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス。例えば、プロのアーティストを地域の学校や福祉施設に派遣してミニコンサートなどを行う普及事業。



北斗七星コンサート



いちご畑コンサート

### 第3. 当公益財団事業の現状と課題

当公益財団では、平成5年7月の施設開館以来様々な事業に取り組んできており、「はじめに」で述べたように、岡垣町が実施した住民アンケートでは、まちづくりの満足度の高い項目に「岡垣サンリーアイや図書館などでの文化事業や文化講座などの推進」があげられている。一方で、施設開館当時とは岡垣町及び当公益財団を取り巻く社会環境は大きく変化している。今後も住民のニーズや社会環境の変化に対応した事業を展開するため、平成27年度の貸館事業を除く全事業について、その目的や実施形態、着手年度、実施時期・回数、事業費、利用者負担、参加者の実態などを把握するとともに、問題点やその発生要因などを分析した。

現在実施している事業の問題点や課題を、事業計画の事業区分に従って整理すると次のようになる。

#### 1. 自主事業

##### (1) 鑑賞事業（公益目的事業1）

本事業は、地域の文化及び生涯学習の振興を図るため、子どもから大人まで幅広い年齢層の地域住民に対し、質の高い文化・芸術等公演を低廉な価格で鑑賞する機会を提供する事業である。

「いちご塾文化講演会」「カンタービレ・サロン・コンサート」「福岡教育大学の教員と学生によるコンサート」「劇団飛行船マスクプレイミュージカル」などの継続事業や年1本程度の「演劇・演芸・音楽等事業」等の主催事業のほか、「ふれあいコンサート in おかがき」等の共催事業を実施している。

平成27年度は、合計9件（計20回）の事業を実施し、6,247人の入場者があった。

各事業の課題は次のとおりである。

##### ①カンタービレ・サロン・コンサート

各年度の事業企画が明確でないため、出演者の選定に時間を要している。前年度の早い段階で翌年度の企画を立て、出演者の選定にあたる必要がある。

##### ②福岡教育大学の教員と学生によるコンサート

学制改革による福岡教育大学の芸術課程廃止に伴い、出演者が音楽専攻者から音楽サークルに移行していくため、当初の目的であった音楽専門の演奏技術・経験・知識を有した音楽専攻者の活用ができなくなる。今後は事業関係者と協議を行い、事業の継続や展開について検討する必要がある。

##### ③演劇・演芸・音楽等事業

限りある予算の中で多くの事業や幅広いジャンルの事業を実施することは難しい。このため、宝くじ文化公演等の補助金事業を取り入れることによる事業収入の確保、他館との連携による経費の削減を図り、幅広いジャンルの事業実施を目指す必要がある。

##### ④いちご塾

社会情勢や会員の意向が変わり、アンケートでは、夏期の開催、プラザ風と波の開演中の入場、開演・終演の時刻に対する改善のご要望が寄せられている。時代の変化に対応しつつ、限られた財源の中で、これからも会員に満足してもらえる様な事業運営をするための見直しを行う必要がある。

#### ⑤サンリーアイ名画シアター

共催事業であり、上映する作品は、配給会社が上映可能なものに限られ、集客を見込めるヒット作を上映することが難しいため、平成 28 年度をもって本事業を廃止する。

### (2) 参加事業（公益目的事業 2）

本事業は、地域住民に自らの文化芸術活動の発表の場を提供することや、イベントの企画や運営までを含めた幅広い文化活動に取り組めるように支援することにより、文化レベルの向上と地域の活性化を図ること目的とする事業である。

「ぴあのリレーマラソン」「いちご畑のコンサート」「こどもキャンプ」などの継続事業や単発での「くるみ割り人形」などの主催事業のほか、さんりん舎による「ゆめフェスタ・サンリーアイ」「岡垣ふるさと物語」、地域団体等の自主的活動を支援する「岡垣町民吹奏楽団定期演奏会」「おはようスケッチ大会」「岡垣アートフェスティバル」「教師による美術展」などの共催事業や、岡垣町からの委託による「岡垣町核兵器廃絶平和の町宣言事業」などを実施している。また、平成 26・27 年度は人材育成事業「アーツ・スポーツカレッジ」を実施し、平成 28 年度からの「人材バンク」「文化ボランティア企画提案型事業」に繋がっている。

平成 27 年度は、合計 16 件（計 38 回）の事業を実施し、8,497 人の入場者があった。

各事業の課題は次のとおりである。

#### ①ぴあのリレーマラソン

出場関係者を中心とした入場者が多く、一般の入場者が少ない。事業を全体的に見直し、一般入場者が増えるような工夫をする必要がある。

#### ②いちご畑のコンサート

事業発足後 22 年が経過して出演者が固定化してきている。観客もほとんどが出演者の関係者であり、不特定多数の利用者を対象とした事業とは言えなくなっている。今後は、プロ奏者による演奏を提供する普及型のロビーコンサートに事業内容を再構築するなど、事業の形態を見直す必要がある。

#### ③サンリーアイこどもキャンプ

休館日を利用して宿泊型の子どもイベントとして実施しているが、人員体制上の制約から受け入れ可能人数が 30 人に限られる。今後は、本事業と同程度の予算で多くの子どもたちが参加できるような、日中のイベントに転換していく必要がある。

#### ④岡垣町核兵器廃絶平和の町宣言事業

平成 20 年度より岡垣町から委託を受け、住民団体の協力を得て実施しているが、小学 6 年生の入場者が大半を占め、一般町民の入場者が少ない。今後は、町との協議により、事業全体の見直しを行う必要がある。

#### ⑤岡垣アートフェスティバル

本事業の実行委員会との共催により実施している。今後、当財団が関わる全ての共催事業について、共催のあり方などを再検証する中で、本事業の実行委員会との協議を行う必要がある。

#### ⑥岡垣町民吹奏楽団 定期演奏会

平成 26 年度より施設使用料等の支援を行っている。今後は他の住民文化団体に対する支援のあり方とも併せて、本団体への支援期間を明確にする必要がある。

### (3) スポーツ事業（公益目的事業5）

本事業は、地域におけるスポーツ振興と、スポーツを通じた地域住民の心身の健康づくりを目的として、各種大会（プロ・アマチュア競技会、軽スポーツ大会）やスポーツ・運動に親しむイベントを開催する事業である。

「アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣」を主催事業として実施するほか、「サンリーアイ オープン ソフトバレーボール大会」「福岡県空手道選手権大会」を共催事業として実施している。

平成 27 年度は、合計 4 件（計 5 回）の事業を実施し、5,360 人の入場者があった。

各事業の課題は次のとおりである。

#### ①アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣

本事業を今後も継続して実施するためには、本事業の運営にあたる岡垣町バドミントン連盟内で主体的に関わる人材の育成が課題となっている。

#### ②サンリーアイ オープン ソフトバレーボール大会

平成 18 年より 11 年間にわたり継続実施しており、地域に対するソフトバレーボール競技の普及に十分な貢献があった。本事業の実行委員会との協議により、平成 28 年度をもって本事業を終了することとなった。

### (4) サンリーアイ倶楽部（収益事業等 1）

本事業は、当財団の文化事業への参加に特典を付与することにより、会員の文化活動を促進し、また近隣文化施設の友の会と連携することによって、イベント等における入場者の増を図るものである。

平成 27 年度の会員数は、120 人となっている。

鑑賞事業のチケットを優先購入できることが、本倶楽部の最大のメリットであるが、事業本数が減ったことにより、このメリットが薄れてきた。このため、他の公共文化施設との連携による共通特典制度 PLUS+4LINE を導入して会員の増加を図った。しかしながら他館の鑑賞事業も減っており、再び倶楽部の特典が薄くなっている。

課題として、このような状況の中でどのようにこの制度を存続させるのか、特典の見直しなどの対応も含めて検討が必要となっている。

## 2. 講座事業（公益目的事業 3）

本事業は、地域住民の文化やスポーツ振興及び生涯学習の拠点として、文化芸術や教養、健康づくりや運動に関する講座等を実施する事業であり、地域住民の自主的な学習活動の支援と文化スポーツ活動のすそ野の拡大を目的に実施している。

平成 27 年度の実績は、レギュラー講座は月平均講座数が 105 講座であり、月平均受講者数が 694 人であった。スポット講座は年間講座数が 91 講座であり、年間受講者数が 460 人であった。その他、文化講座に関連する事業を計 14 件実施し、11,163 人の入場者又は参加者があった。

各事業の課題は、次のとおりである。

#### ①レギュラー講座及びスポット講座

今後も受講生の増加を図るとともに、住民及び利用者に学びと生きがい、交流の場を提

供するため、魅力ある新規講座を企画し、運営する必要がある。

②サンリーアイ・カルチャー・フェスタ

本事業に参加する文化講座が固定化している。このため、各講師へ情報提供を行うことで本事業の周知を図り、参加を促す必要がある。

③サンリーアイ文化講座視察研修

文化講座受講生の特典として毎年約 150 人の参加があり、受講生が継続受講する魅力のひとつとなっている。今後も受講生にとって有意義な視察研修とするため、魅力ある視察場所を選定する必要がある。

### 3. 図書事業（公益目的事業 4）

#### (1) 読書、図書館活性化事業

本事業は、図書資料・情報の収集及び管理、図書館での配架、貸出の他、読書活動の推進及び活性化を行うもので、「図書館まつり」「図書イベント」「展示イベント」「読書会、おはなし会」「図書館の新たな魅力創出に関する取り組み」等を実施している。

平成 27 年度は、149,729 人が図書館を利用し、このうち 6,130 人が 19 件の読書・図書館活性化事業に参加・入場した。また、図書資料の更新・補充等により、年度末の蔵書数は、90,351 冊となった。

各事業の課題は、次のとおりである。

①図書館まつり

子どもゆめ基金の補助金を受け、図書館ボランティアと協働で実施している。

事業が定着し、小ホールでの催しは、満席の状態が続いているが、今後、入場者に良好な環境で鑑賞いただき、満足感を高めるため、会場の変更や二部構成とすること等の対応が必要である。

②図書イベント

現在は、夏休みの工作教室や星空観測会等の子供を対象としたイベントを中心に行っているが、幅広い年齢層に向けて読書普及を促すため、大人を対象としたイベントも企画する必要がある。

③展示イベント

学校図書館連絡協議会と連携し、感想文や感想画作品の展示などを実施しているが、出品関係者以外には認知度が低く、入場者が少ない。より多くの方に鑑賞してもらえる内容と周知の方法について見直しを行う必要がある。

④読書会

読書会については、継続的に開催しているが、当初からの継続会員が多く、会員が固定化されている。会の活性化を図るため、広く募集を行い、新規入会者を増やす必要がある。

⑤図書館の新たな魅力創出に関する取り組み

図書館には、貸出以外の閲覧、ボランティア活動等の目的で利用する人も多く来館しており、今後もより多くの方々に利用していただくためには、図書館機能及びサービスの充実と魅力創出に努める必要がある。

図書館サービスの充実については、利用者アンケートや他館調査を実施し、分析結果を反映させた中長期図書館運営計画を策定する必要がある。

図書館機能の充実については、書棚レイアウトの見直しや増設を行い、図書の配列を利用しやすくする必要がある。またゆとりある閲覧スペースの確保のため、屋外読書コーナーの設置に向けて、岡垣町と協議を行う必要がある。

更に図書館の新たな魅力を創出するため、図書館グッズの開発などの取り組みが必要である。

## (2) 図書ボランティア活動

図書館の運営に支援、協力をいただいている図書ボランティアは、現在5つのグループがあり、約70名の会員が登録している。各グループの特性を活かして、読み聞かせや布の絵本制作、書棚整理、本の修理等の活動を年間延べ200回程行っている。

課題として、今後も活発な運営を継続して実施するため、ボランティア活動に主体的に関わる役員の後継者の育成が課題となっている。

## 4. 施設管理運営（公益目的事業6）

本事業は、地域住民の活動と交流の場として、地域住民が気軽に、また安心安全に施設を利用することができるよう、施設の管理、運営等を行うものである。

施設の管理運営として、「長期営繕計画に基づく施設・設備の改修」や「フィットネスジム関連事業」、組織の管理運営として「職員研修」「職員の健康管理」「危機管理講習・訓練」等を実施している。

平成27年度は、432,599人の利用者があった。

各事業の課題は、次のとおりである。

### ①職員研修

中長期事業計画を着実に実行するためには、職員の意識改革と能力、資質の向上が重要である。現在、財団独自で研修を行う他、岡垣町その他の団体が行っている研修に職員を参加させているが、体系的、計画的なものとなっていない。今後は、より効果的に研修を実施するため、一定期間における各種研修を定めた研修計画を策定し、それに基づいた研修に取り組む必要がある。

### ②危機管理講習・訓練

近年、増加している地震や台風等の自然災害、また大規模イベント時での災害に対して、被害抑止及び軽減に努めるため、災害に対する訓練及び危機管理マニュアルの更新を行う必要がある。

### ③職員の健康管理

職員の安全と健康を確保し、良好な職場環境を維持するため、今後も職員及びアシスタントの一般健診を行い、35歳以上の職員・アシスタントには付加健診を継続実施するとともに、ストレスチェック等のメンタルヘルス対策の導入を検討する必要がある。

### ④長期営繕計画に基づく施設・設備の改修

施設管理面においては、年間4,000万円の予算内で、経年劣化による改修を効率的で効果的に行うため、計画実施の優先順位を再度見直す必要がある。

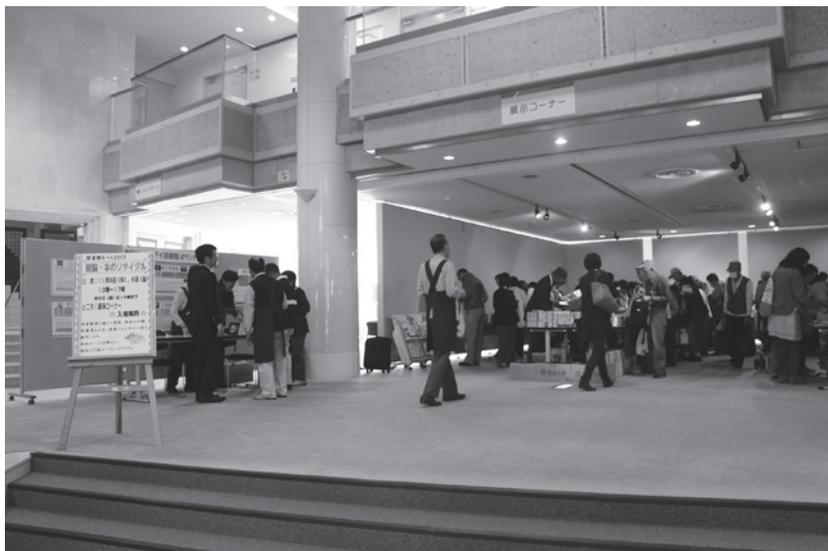
また、貸館事業において、利用率の低い施設については、原因把握及び分析を行い、施設機能の向上、設備の改善を図り、利用率を向上させる必要がある。

### ⑤フィットネスジム関連事業

健康志向の進展や1時間利用制度の導入等でのフィットネスジムの利用増加による事故等の防止のため、定期的な機器の点検回数を増やすことで、利用者の安全性を確保する必要がある。また、利用者の少ない曜日や時間帯の利用を促すことで、利用者の渋滞の緩和を行い、現在のサービスレベルを維持する必要がある。



フィットネスジム



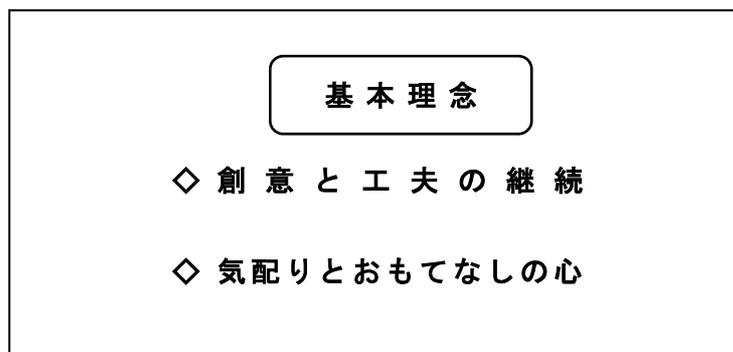
図書まつり

#### 第4. 基本理念及び将来像

岡垣サンリーアイでは、現在年間約43万人の人たちが各施設を利用している。また、各事業を実施した際に行っている利用者アンケートでは、回答者の約92.2%が「大変良かった」「良かった」と答えている。

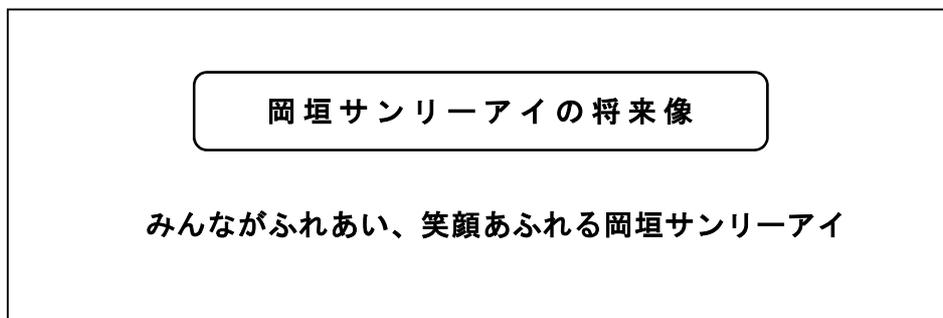
これからも複合施設としての機能を活かし、創意と工夫を続けながら様々な事業を効率的に展開することにより、多くの人たちがサンリーアイを訪れることが期待される。一方で、すべての利用者にとって快適な施設、満足できる事業となるためには、当公益財団の職員が、利用者に対して常に気配りとおもてなしの心をもって接することや事業を企画することが大切である。

以上のことから、当公益財団の事業活動の基本理念として次のことを掲げる。



当公益財団法人の設置目的は、学習・文化・スポーツ・レクリエーションの促進と岡垣サンリーアイの利用促進を図り、もって地域住民の心身の発達及び福祉の向上と健全なまちづくりに寄与することである。

基本理念に基づいて、当財団の設置目的に沿った事業活動を進め、地域住民及び利用者の相互交流の活発化と満足度100%達成を目指して、次のような岡垣サンリーアイの将来像を設定する。



## 第5. 事業体系の再構築及び今後の事業展開に向けた基本目標と基本方針

### 1. 基本目標

先に述べたように、施設開設以来当公益財団や岡垣町を取り巻く社会環境の大きな変化に加え、国や県、町における文化・スポーツに対する施策動向、他の複合文化施設における独自の取り組み、現事業に関する様々な課題の存在などがある。このような現状を踏まえ、今後も住民のまちづくりに対する期待に応えながら、当公益財団法人の設置目的や岡垣町の政策に沿ってスクラップ・アンド・ビルドにより事業体系の再構築を進め、今後の事業展開を図るため、次のような三つの基本目標を設定する。

#### (1) ひとつづくりの推進

平成 24・25 年度に外部委員を交えて開催した事業検証会議において、当公益財団が取り組む事業の使命・役割として結論づけられた「ひとつづくり」を具体的、積極的に推し進めるため、「ひとつづくりの推進」を事業活動の基本目標の一つとする。

#### (2) 地域の文化・スポーツの振興

当公益財団の設置目的の一つである「地域住民の心身の発達と福祉の向上」及び岡垣町の政策である「住民が学び、育つ生涯学習の環境づくり」「住民がスポーツを楽しみ、交流する機会の拡大」に沿った事業展開を図るため、「地域の文化・スポーツの振興」を二つ目の基本目標とする。

#### (3) 地域への貢献

当公益財団法人の設置目的として定められた「健全なまちづくりの推進への寄与」を実現するとともに、事業活動を通じて地域課題の解決や住民福祉の向上に寄与するため、「地域への貢献」を三つ目の基本目標として設ける。

### 2. 基本方針

三つの基本目標に基づいて、既存事業の見直しと新規事業の企画による事業体系の再構築を行い、住民や利用者のニーズ、社会環境の変化に柔軟に対応しながら各事業の展開を図るため、事業の取り組みの視点、基本的な考えとして、次のような四つの基本方針を定める。

#### (1) 岡垣町と連携した事業の取り組み

基本目標として設定した「地域への貢献」を積極的に実現するため、当公益財団法人への委託者である岡垣町が掲げる政策目標や町が進める施策に沿った事業の構築と展開を図る。

#### (2) 住民や利用者との協働による取り組み

住民や利用者との協働によって地域の文化・スポーツの振興とまちづくりへの寄与を図るため、実行委員会との連携による事業の企画や実施、文化ボランティアの協力

による事業の推進、文化ボランティアの主体的・自主的な取り組みによる事業への支援などを行う。

### (3) 時局の要請、ニーズに対応した取り組み

住民や利用者にとって満足度、充実度の高い事業効果が得られるよう、時の流れとともに変化する社会環境や住民・利用者の意向に柔軟に対応した事業の見直しや組み立て、企画を行う。

### (4) 限りある財源の有効活用・新たな財源の確保

町からの受託料収入は、貴重な町の税収が充てられることを十分認識し、最小の経費で最大限の効果が発揮されるように事業を企画する。また、受託料収入だけに頼ることなく、国や県の補助事業、民間の資金などの活用や適正な入場料収入の設定や受益者負担金の確保を図りながら事業を展開する。

## 第6. 計画期間

この計画の「第4. 基本理念及び将来像」、第5のうち「基本目標と基本方針」の期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とする。また、基本目標及び基本方針に基づいた事業計画は、平成29年度から平成33年度までの5年間を前期事業計画とし、平成34年度から平成38年度までの5年間を後期事業計画期間とする。なお、後期の事業計画は、平成32年度より編集作業に着手し、平成33年度までに策定するものとする。

## 第7. 事業体系と主要事業

### 1. 事業体系

基本目標及び基本方針に基づいて、平成27年度において実施していた既存事業の評価、分析を行い、平成28年度限りで廃止する事業を除いた上で、「従来どおりの内容で継続するもの」「内容の一部または全部の見直しを行った上で取り組むもの」「一定期間経過後に廃止するもの」「平成29年度以降新たに取り組む事業」により、前期事業計画における事業体系を構築した。事業区分ごとに事業名を掲げた事業体系図は別図のとおりである。

### 2. 主要事業

計画期間中の全事業のうち、次のいずれかに該当するものについては、主要事業として位置づけ、期間中に遅滞することなく、着実かつ積極的に取り組みを進めるものとする。

- (1) 事業の実施により基本目標の達成に向けて高い効果が期待できるもの
- (2) 当公益財団法人の設置目的や岡垣町の政策との関わりにおいて、事業が果たす役割や重要性が大きいもの
- (3) 事業の実施による受益が多くの住民、利用者にあぐもの

前期計画期間中における主要事業は次表のとおりである。

事業区分		主要事業名
自主事業 (8事業)	鑑賞事業 (4事業)	いちご塾文化講演会
		カンタービレ・サロン・コンサート
		いちご畑のロビーコンサート (仮)
		音楽の出前コンサート (仮)
	参加事業 (2事業)	新しい音楽事業 (仮)
		文化ボランティア企画提案型事業
スポーツ事業 (2事業)	アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣	
	開館記念スポーツ事業	
講座事業 (2事業)		レギュラー講座
		スプリングフェスタ Happy カルチャー！
図書事業 (3事業)		図書館まつり
		図書イベント
		図書ボランティアによる活動
施設管理運営 (3事業)		職員研修
		危機管理講習・訓練
		長期営繕計画に基づく施設・設備の改修



いちご塾



カンタービレ・サロン・コンサート

## 第8. 前期事業計画における事業の概要

第5章の基本目標及び基本方針に基づいて、第3章の課題を解決しながら、平成29年度から平成33年度までの前期事業計画期間に取り組む各事業の概要は、次のとおりである。

### 1. 自主事業

#### (1) 鑑賞事業

平成28年度まで実施していた6事業のうち5事業について、工夫、改善を行いながら継続する一方、新たに2事業の取り組みを進める。

なお、平成28年度まで実施していた「いちご塾」の前半の「プラザ風と波」については、平成28年度をもって廃止となったが、今後アマチュアのアーティストが発表する機会と場を設ける。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① カンタービレ・サロン ・コンサート	九州に縁があり国内外で活躍中の音楽アーティストを中心に招聘して小ホールで開催するアットホームなコンサート。年3回実施する。 一定年数を一つの事業企画でまとめ、各実施年度の前年度に具体的な音楽ジャンルや出演者を決める。	累計入場者数 270人 (100席×90% ×3回)
② 福岡教育大学の教員と 学生によるコンサート	福岡教育大学の協力により開催する、気軽にクラシック音楽を楽しむことができるコンサート。 大学側の事情などを考慮しながら、関係者との協議により継続実施する。	256人 (ハミングホルの 前半分285席 ×90%)
③ いちご畑の ロビーコンサート (仮称・新規)	プロの音楽家による演奏を、無料で来館者に提供する文化芸術普及型のロビーコンサート。	累計入場者数 180人 (30人×6回)
④ 音楽の出前コンサート (仮称・新規)	普段、サンリーアイに来館することができない方を対象に音楽の生演奏を届けるため、地域の福祉施設や病院などでコンサートを実施するアウトリーチ事業。	累計入場者数 60人 (30人×2回)
⑤ 劇団飛行船	幼児・児童及び保護者を対象とした事業で、マスク人形に扮した出演者が華麗な仕掛けの中で、きらめく踊りと歌を繰り広げるマスクプレイミュージカル。	1,062人 (591席×90% ×2回)

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
⑥ 演劇・演芸・音楽等事業	著名なアーティストによるコンサートや質の高い演劇・演芸公演等の文化芸術イベントを低廉な入場料で実施し、不特定多数の方に鑑賞の機会を提供することを目的とする事業。 補助制度の活用や他館との連携による共通経費の削減により、財政面での効率化を図る。	531人 (591席×90% 回)
⑦ いちご塾 文化講演会 (全6回)	各ジャンルで活躍中の著名人を講師として招聘する講演会事業。年6回(4~6月、9~11月の第4土曜日)開催する。 社会情勢の変化などに対応しながら、話題性のある講師を提供する。	累計入場者数 3,186人 (591席×90% ×6回)

## (2) 参加事業

平成28年度まで実施していた12事業のうち、9事業については、内容などを見直して継続する。

なお、平成28年度まで実施していた「いちご畑のコンサート」については、平成28年度をもって廃止となったが、今後アマチュアのアーティストが発表する機会と場を設ける。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① ぴあのリレーマラソン	公募により、地域のピアノ愛好者に舞台上でグランドピアノを演奏する機会を提供する事業。 出場関係者だけでなく、一般の人も入場するようなイベントとなるよう内容を全般的に見直した上で継続して実施する。	450人 (150人×3部)
② 新しい音楽事業 (仮称)	開館25周年(平成30年度)を集大成とする平成28年度からの三か年事業。地域の合唱、吹奏楽、管弦楽等の音楽関係者が参加する内容のコンサート。	531人 (591席×90%)
③ ミュージック・スペース (新規)	毎月第3金曜日15時から19時までの小ホールを地域住民が自主的に開催する無料コンサートの会場として開放することにより、アマチュアのアーティストが発表する機会と場を提供する事業。	実施回数 月1回×12ヶ月

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
④ 岡垣町民吹奏楽団 定期演奏会 (共催事業)	岡垣サンリーアイを活動拠点に音楽活動を通じて地域文化の高揚等に貢献している町民吹奏楽団の定期演奏会を共催により実施。 今後は、他の住民文化団体に対する支援のあり方とも併せて、本団体への支援期間を定める。	531人 (591席×90%)
⑤ 岡垣町核兵器廃絶 平和の町宣言事業 (町委託事業)	岡垣町の核兵器廃絶平和の町宣言にもとづき、平和について考え、平和を願う機会を持つことで、核兵器廃絶につながることを目的に岡垣町より企画委託を受けて実施する事業。 平成30年度より、新たな事業企画で実施する。	591人 (591席 ×100%)
⑥ おはようスケッチ大会 (共催事業)	子どもたちがふるさとの風景をいつまでも心の中に持ち続けるように、スケッチを通じて、子どもたちの地域への関心を高め、豊かな心を育むことを目的に開催するスケッチ大会。	スケッチ 150人 観覧 500人
⑦ 岡垣アート フェスティバル (共催事業)	岡垣町を中心とした地元で活躍中の芸術家たちによる美術品の作品展示。 共催の内容について、他の共催事業と併せて検討する。	累計入場者数 1,000人 (100人×10日)
⑧ 岡垣町 未来につなぐ 美術展 (共催事業)	岡垣町で美術教育に携わる教育者が組織する実行委員会による、社会における芸術文化の振興を目的とした美術展。岡垣町の児童生徒が制作した作品を展示する。	累計入場者数 1,000人 (100人×10日)
⑨ 文化ボランティア 企画提案型事業	文化ボランティア人材バンクに登録した人材が企画立案する事業に対して、1事業50万円を限度に補助を行う。	累計入場者数 360人 (100人 ×90%×4回)

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
⑩ サンリーアイ こどもキャンプ	休館日を利用して、約 30 人の小学 3～6 年生が文化・スポーツイベントや肝だめし等を体験し、宿泊する。子ども達が岡垣サンリーアイに親しみ、文化スポーツ活動のきっかけを創る未来への懸け橋事業。 今後は多くの子ども達が参加できる日中のイベントとして再構築した上で実施する。	30人

### (3) スポーツ事業

平成 28 年度まで実施していた 4 事業のうち、2 事業を継続して実施する他、新たに 1 事業に取り組む。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① アジアバドミントン ジュニアクラブ選手権 in 岡垣	地域住民が生涯スポーツとしてバドミントンを取り入れるきっかけづくり及びジュニアの育成と交流を目的に、全国各地の精鋭ジュニアクラブが集い競い合う、選手権大会。 運営を担う岡垣町バドミントン連盟との今後の実施体制について協議を進める。	3,000人 (1,000人 ×3日)
② 開館記念スポーツ事業 (新規)	ウェーブアリーナ開館 20 周年(平成 32 年)を記念して企画実施するスポーツ事業。	1,000人
③ 福岡県空手道選手権大会 (公社)日本空手協会 全国大会予選 (共催事業)	福岡県内の小中学生及び一般選手を対象とした空手道選手権大会。	1,500人

#### (4) サンリーアイ倶楽部

平成 28 年度まで実施していた 1 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① サンリーアイ倶楽部	本事業は、当法人の文化事業への参加に特典を付与することにより、会員の文化活動を促進し、また近隣文化施設の友の会との連携をすることによって、イベント等における入場者の増を図るものである。 どのようにこの制度を存続させるのか、特典の見直しなども含めて検討し対応する。	200人

## 2. 講座事業

### (1) レギュラー講座

平成 28 年度まで実施していた 1 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① レギュラー講座	地域住民の自主的な学習活動の支援と文化スポーツ活動のすそ野の拡大を目的として文化芸術や教養、健康づくりや運動等に関する講座を継続的に実施する事業。 住民及び利用者に学びと生きがい、交流の場を提供するため、現講座の実態の把握や民間等における実施例の調査をもとに魅力ある新規講座を開設する。	講座数 110 講座(月平均) 受講者数 750 人(月平均)

### (2) スポット講座・有料体験会

平成 28 年度まで実施していた 2 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① スポット講座	季節に関連したものや屋外で実施するもののほか、カリキュラムの内容がレギュラー講座向きでないものについて単発で実施する講座。 住民及び利用者に学びと生きがい、交流の場を提供するため、現講座の実態の把握や民間等における実施例の調査をもとに魅力ある新規講座を開設する。	講座数 100 講座(年合計) 受講者数 500 人(年合計)

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
② 有料体験会	レギュラー講座の新規受講生獲得を目的として行う有料体験会。新規講座立ち上げの際や既存講座の受講生獲得の際に実施する。	

### (3) その他の講座事業

平成 28 年度まで実施していた 4 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① サンリーアイ文化講座 文化祭 スプリングフェスタ Happy カルチャー！	一年間の受講成果の集大成として、講師・受講生に発表の機会と場所を提供し、文化講座の充実・周知の促進を図ることを目的として行う文化祭事業。作品展示会、生花展示会、体験会、呈茶席、即売会、芸能祭などを実施する。	8, 500 人
② サンリーアイ カルチャーフェスタ	講師・受講生に発表の機会と場所を提供し、文化講座の充実・周知の促進を図ることを目的として実施する随時の発表会・作品展示会等事業。 各講師へ情報提供を行うことで本事業のさらなる周知を図り、参加を促す。	累計入場者数 2, 500 人
③ サンリーアイ文化講座 視察研修	普段の講座とは異なる体験により、講師及び受講生に新しい価値観の発見と講座内のコミュニケーションの機会を提供し、継続受講を促すことを目的として実施する視察研修事業。 受講生にとって有意義な視察研修とするため、事前調査などに基づいて、魅力ある視察場所を選定する。	160 人
④ サンリーアイ伝統文化 こども教室	未来を担う子どもたちに伝統文化を継承していくことを目的として実施する教室事業。	30 人

### 3. 図書事業

#### (1) 読書、図書館活性化事業

平成 28 年度まで実施していた 5 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① 図書館まつり	図書館の周知と幼児からの読書習慣の意識を目的とした図書館ボランティアによる実行委員会形式の事業。 開催場所等の見直しにより、来場者の満足度を高める企画をする。	1,000 人
② 図書イベント	読書習慣のきっかけづくりを行い、読書の普及をとおして図書館の活性化を図る事業。 幅広い年齢層に対応するため、対象年齢の異なる事業を企画する。	700 人
③ 展示イベント	絵本作家等の原画や子供達による感想文を展示し、読書普及を図る事業。 観覧者を増やすための周知方法や企画の検討を行い、実施する。	1,000 人
④ 読書会	読書会は、同一の図書を読み、その感想を述べ合う事業である。 新規会員の募集等により、会の活性化を促す取り組みを検討する。	600 人
⑤ 図書館の新たな魅力創出に関する取り組み	書棚の規格統一化やレイアウトの見直し、増設の他、関連グッズの開発により、図書館の新たな魅力を創出する事業。 岡垣町との協議により、屋外読書コーナーの設置を検討する。また利用者アンケート等を実施し、分析結果を活かした中長期図書館運営計画を策定する。	

#### (2) 図書ボランティア活動

平成 28 年度まで実施していた 4 事業について、継続的に実施するため、役員の後継者の育成に取り組む。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① 読み聞かせ	図書館内のおはなしのへやで、絵本の読み聞かせや紙芝居などのおはなし会を行う活動。	活動日数 年間 65 日

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
② 布の絵本制作・布のおもちゃ作り	表紙から本文まで、紙とは違うぬくもりのある布の絵本の制作を行い、館内の子ども広場用の布のおもちゃの制作を行う活動。	活動日数 年間 55 日
③ 書棚整理・本の修理	図書館内の書棚整理及び傷んだ図書資料の修繕を行う活動。	活動日数 年間 75 日
④ ボランティア研修会・懇談会	図書館ボランティアとの意思疎通と各ボランティア間の交流を図るための懇談会及び活動の活性化と連携を深めることを目的に行う事業。	各年 1 回以上

#### 4. 施設管理運営

平成 28 年度まで実施していた 6 事業について、工夫、改善を行いながら継続する。

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
① 職員研修	職員一人ひとりが自覚を持ち、積極的な行動を取れるプロ意識の高い職員の育成を行うことを目的に、企画、接遇等に関する専門性の高い独自研修を実施する。 知識、技術の向上に努めるとともに、他団体との連携の促進を目的に、岡垣町・公立文化施設協会等の実施する研修会に積極的に参加する。 中長期事業計画を着実に実行するため、体系的な研修の実施計画を策定する。	年 4 回以上
② 危機管理講習・訓練	職員の危機管理能力の向上を図り、安全・安心・快適な施設を提供するため、「消防総合訓練」と「消防部分訓練」を実施する。 災害に対する訓練及び危機管理マニュアルの更新を随時行う。	年 2 回
③ 職員の健康管理	労働安全衛生法に基づき、職員の健康状態を検査、把握することで職場の健康被害を防止するため、健康診断及び健康相談を実施する。	健康診断及び健康相談（各年 1 回）

事業名	事業の概要及び課題への対応	目標
④ 長期営繕計画に基づく 施設・設備の改修	施設・設備の老朽化を抑制しつつ、長寿命化と機能向上を図るため、「長期営繕計画」に沿った計画的な改修を岡垣町と協議の上、効率的で効果的に実施する。経年劣化による突発的な大規模改修に対応するため、実施の優先順位を再度見直す。	1年で10件程度 程度 (予算4,000万円以内)
⑤ フィットネスジム関連 事業	フィットネスジムの利用促進のため、リズム体操やピラティス等の各種スポーツ教室を実施する。また利用者が減少する冬季にポイントキャンペーンを実施する。 利用者増加による事故対策として、空き時間の案内等での利用者渋滞の緩和を行い、安全の確保を行う。	教室 週1回 (毎週木曜日 午前) キャンペーン 年1回 (毎年12～2月)

## 第9. 事業の実施体制

この計画に掲げた各事業に取り組むための当公益財団の組織体制は、現行のとおりとするが、円滑、かつ効率的な取り組みとなるよう、係及び職員相互の連帯、意思疎通をより一層図るとともに、必要な人材の確保に努めることとする。また、岡垣町と連携した取り組みが着実に進むよう、町の関係部署との連絡、調整を緊密に行う。

住民や利用者との協働の取り組みについては、必要に応じて事業の実行委員会を立ち上げ、事業の企画段階からの参画を促す。また、人材バンクに登録した文化ボランティアからの自主的、主体的な提案による事業の企画と実施に向けた取り組みを進める。さらに、従来から運営に協力をいただいている図書ボランティアや、各事業に参加、協力されるボランティアグループや個人ボランティアの育成を図る。

単独では実施が困難な大型事業の誘致や、事業に関連した情報収集を確実にを行うため、他の公立文化施設等との協力関係の構築と共同した取り組みを進める。

## 第10. 計画の進行管理と見直し

### 1. PDCA (Plan Do Check Action) サイクルによる事業の企画と実施

各年度に予算化する事業は事業計画に基づいて計上し、各事業が終了した際には、その都度事業調査票により成果の確認と課題の洗い出しを行う。また、その結果を翌年度以降の事業の企画や取り組みに反映させる。

## 2. アンケートやモニターの実施

事業に対する利用者の評価や今後の事業展開に関する意向等を把握し、事業の見直しや新たな企画に反映させるため、事業に関するアンケートやモニターを適宜実施する。

## 3. 事業検証会議の開催

事業の実施効果や公益性、事業計画との整合性等を検証し、事業の見直しや事業計画の策定に反映させるため、必要に応じて外部委員を交えた事業検証会議を開催する。

## 4. 計画の見直し

前期及び後期の事業計画は5年間を計画期間とし、それぞれの計画期間が終了する年度の前年度より策定作業に着手し、計画終了年度までに次の期間の事業計画の策定を完了させる。しかし、計画期間中に社会情勢の急激な変化や岡垣町の総合計画の策定等があった場合は、柔軟に対応し計画の見直しを行うものとする。



Happyカルチャー! 2017

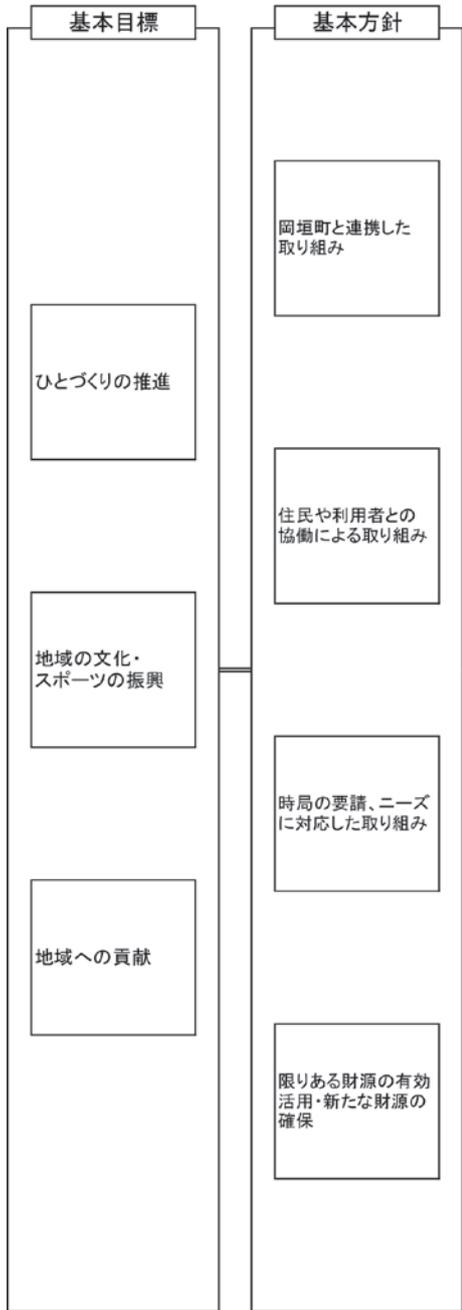


福岡県空手道選手権大会

# 岡垣サンリーアイ事業体系図

**岡垣サンリーアイの将来像**  
みんながふれあい、笑顔あふれる岡垣サンリーアイ

**基本理念**  
◇創意と工夫の継続  
◇気配りとおもてなしの心



岡垣サンリーアイのシンボルマーク(イメージマーク)



**岡垣サンリーアイ**

三里松原の松の緑を象徴する「緑」と、青い海の響灘を象徴する「青」、美しい白い海岸線の砂浜を象徴する「白」はサンリーアイの頭文字も表しています。

---

## 岡垣サンリーアイ中期事業計画

発行 公益財団法人 岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団

〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目2番1号

TEL 093-282-1515(代)・図書館:TEL 093-282-5566

図書館 TEL.093-282-5566

フィットネスジム:TEL.093-282-5858

FAX 093-282-1919 URL:<http://sanryai.info/>

---



(公財)岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団